



学年経営目標

令和6年度 市川中2年グランドデザイン



中堅学年としての自覚を持ち、自己と集団の向上をめざして、主体的に努力し行動する生徒の育成

今年度の重点

確かな学力の育成

- 主体的に学習に取り組むための授業の工夫
 - ・授業規律の確立を図り、授業形態の工夫をし、学び合い、成長し合える授業を行う。
- 家庭学習の習慣化と内容の充実
 - ・自主学習ノートに取り組み、学習した内容を定着できるように指導する。
 - ・テストの取り組み表を活用し、自身の学びに活かすよう指導する。
- 個に応じた学習支援
- 自らの生き方や将来について意識を高め、目標を明確にした進路学習の推進



今年度の重点取組及び分掌

- ・小集団の活用、ICTの活用など授業形態を工夫し、意見交流ができる場面を設ける。(全)
- ・タブレットを活用した授業の工夫を提案する。(佐野)
- ・自主学習を回収し生徒の学習状況を確認する。(佐野・廣瀬)
- ・定期テストへの取り組みの事前事後指導、取組過程を通して成果と課題を洗い出し、各自にあった学び方ができるよう個にあった支援を行う。(全)
- ・総合的な学習の中で、高校についての調べ学習を行い、進路の目標が明確になるように指導する。(丹沢)

豊かな心の育成

- 互いに敬愛し、高め合うことができる集団の育成
 - ・一人ひとりの居場所のある学年・学級作りを図る。
- お互いを認め合い、自分らしさが発揮できる集団の育成
 - ・各種行事、諸活動への取組を通して、学級・学年・学校文化を創造し、誇りを持てる集団作りを図る。
- 人権を守り、善悪の判断ができる集団の育成
 - ・学年職員全員で道徳の授業を行い、他者の意見を聴き、様々なことを自分事として捉え、多面的多角的に考え、判断できる心を育てる。
- 関係機関との連携



- ・一人一役を基本とした、係・当番活動を工夫する。(佐野・廣瀬)
- ・行事などを通して、お互いの良いところを認め合い、素直に気持ちを表現する活動を行う。(佐野・廣瀬)
- ・道徳の授業を通して、自分と向き合い、他者を理解する力を伸ばす指導をする。(全・廣瀬)
- ・いじめを含めた他者への攻撃が、どのような結果につながるかを考えられる指導をする。(全)
- ・二者懇談、生活記録ノートを活用して、生徒との対話を行い、生徒理解を深める。(佐野・廣瀬)
- ・他者理解を深め、それぞれの個性を認め合えるよう、インクルーシブ教育を進める。(全)
- ・生徒のよりよい成長のために、関係機関と連携し、多くの人で支え、個々にあった支援を行う。(丹沢)

健康・安全

- 基本的生活習慣の確立と健康管理の推進
- 安心して生活できる空間づくり・美しい環境づくり
- ネット社会やSNSの特色、適切な活用を学ぶ、情報リテラシー教育の推進。
- きまりや心得について考え、自らの立ち振る舞いを振り返る指導。



- ・健康管理のためにも、家庭での時間の使い方を考え、自らの生活習慣を見直す機会を設ける。(佐野・廣瀬)
- ・毎日の清掃活動を丁寧に行い、教室環境の整備を行う。(全)
- ・SNS利用宣言の周知、徹底を図り、情報モラルについての学習を実施する。(平嶋)
- ・きまりや心得について考え、ルールやマナーについて自らを振り返る機会を設ける。(佐野・廣瀬)

地域との連携

- 学級通信・学年通信の発行
 - ・学校の様子を発信し、保護者と情報共有し、生徒のよりよい成長を支援する。
- 地域活動への参加の推進
 - ・みさと学とのつながりを意識し、地域学校協働本部と連携した活動を行い、自分が育つ地域の特色を学ぶ。



- ・学級通信や学年通信を発行し、学年の様子や日常の様子を保護者に伝える。家庭訪問を実施し、保護者と生徒の状況を共有する。(佐野・廣瀬・丹沢・平嶋)
- ・ボランティア活動や防災訓練などを通して、地域の新たな一面を発見し、地域の一員としての在り方を考える。(丹沢)
- ・みさと学に取り組み、地域での職場体験学習を実施する中で、地域の良さ、地域とのつながりを考える。(丹沢)